

消防統計2004

消防のたもと

たんどごの風 24号

119

火災・救急・救助

代表 62-0119

総務課 62-9119
管理課 62-9129
予防課 62-5119

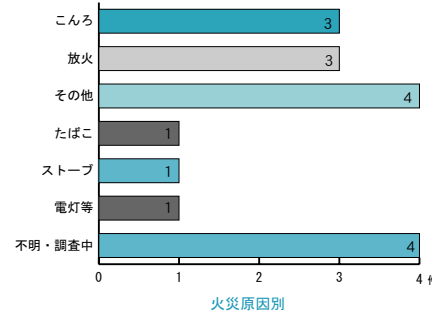
災害の多様化に備えて



消防長 山本 邦昭

昨年は、全国各地で自然災害が多発し、大変な被害をもたらしました。私たちの住む京丹後市も台風23号では、大きな被害を受けました。いつ・どこで発生するかわからないのが災害ですが、その形態は年々複雑化かつ多様化しており、消防に求められる業務も同様に変化しています。

京丹後市消防本部では、2004年中に発生した火災・救急・救助の状況をまとめ、各種の災害原因の分析並びに予防策の検討を行っています。住民の皆さんが「安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指し取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

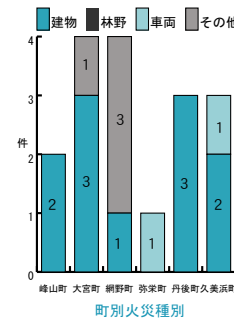


火災
死者2名、負傷者6名
火災件数は、17件で前年に比べ3件増えて見えます。建物11件、車両が2件、その他4件となっています。火災による死者は2名発生し、6名の方が負傷されました。原因を見ると、不明・調査中各が4件、こんろと放火が各3件、次いでストーブ、たばこの順で、全国の統計とほぼ同じ結果となっています。



夕食時に多発

時間帯で見ると、夕食時の18時から20時の間が最も多く5件が発生しています。この時間帯は、食事の準備などで忙しく、「ウツカリ火災」によるものです。町別の発生状況は、峰山町2件、大宮町4件、網野町4件、丹後町3件、弥栄町1件、久美浜町3件でした。



携帯電話で119

119通報の方法として、携帯電話による通報が5件あります。携帯電話の普及とともに、今後も増えるものと思われまます。また、現在、宮津与謝消防本部等を経由しているものが、近い将来、京丹後市の消防本部へ直接つながるようになります。

救急

急病と高齢化

救急件数は、前年比1割増(163件の増加)となる、過去最高の2,066件となりました。救急出動は年々増加の傾向にあります。なかでも、その大半は「急病」によるもので、145件増となっています。この増加する「急病」での搬送者の年齢構成は、そのほとんどが65歳以上の高齢者です。



救急件数 (過去最高)

2,066件

(163件増)

急病 1,224件

(145件増)

1日平均回数

5.64件

救急10メモ



あなたも救急救命士

命を守るために

一見健康な人が、不意に起きた心臓発作で死亡してしまう。日本に起きる突然死は年間約8万人と推定され、約半数が心臓病によるもので、毎日100人以上の方が亡くなっています。その心臓突然死のほとんどが心室細動という不整脈が原因なのです。心室細動を起こすと、数秒で意識を失い、呼吸が停止します。心マッサージなどの心肺蘇生法だけでは救命は難しく、発症から1分経過することに10%ずつ救命率が低下すると言われ、一刻も早い除細動が最も大切であると言えます。



救急救命士 末次 正博

除細動とは、強い電氣的刺激を与えることにより、心臓が規則正しいリズムを取り戻すことを言います。その電氣的刺激を与える機械がAEDと言います。コンピューターが心室細動かどうかを判断し、電気ショックを音声で指示するものです。これまで日本では、除細動器の使用は医療行為にあたることから、医師や救急救命士などの資格を持った者に限られていましたが、最近では一般市民の方も使えるようになってきています。

救急の鎖は早い通報、早い心肺蘇生法、早い除細動、そして救急隊へ引継ぎ早く医師の治療を受けることです。
「あなたも救急救命士！」この心臓突然死から命を救うことができるのです。

★主な件数

急病	1,224件
交通	295件
一般負傷	275件
転院	159件
その他	113件

昨年の救急件数の内訳は、急病が1,224件で一番多く、次いで交通が295件、一般負傷が275件と続きます。なお、台風による自然災害での出動は11件でした。

月別では8月が199件、曜日別では日曜日が334件と一番多く、夏場や、週末に多く発生しています。町別で見ると、網野町が519件と一番多く、全体の約25%を占めています。最も少ないのは弥栄町の175件でした。また、男女別では男性が56%、女性が44%となり、年齢別では65歳以上の高齢者が54%と、救急搬送の半数以上を占める結果となりました。

救助

過去最高の50件 台風被害も影響



救助件数は、過去最高の50件となり、交通事故による出動が25件と最も多く、半数を占めました。次にも多い自然災害による10件出動し、うち9件が猛威をふるった台風23号によるもので、6名を救助しました。

また、件数には含まれていませんが、昨年福井県で発生した豪雨による災害に、緊急消防援助隊の京都府隊として、京丹後市消防本部の救助隊が出動し、現地で活動しました。

119通報



口頭指導を導入
通報総件数は3,640件と、一日平均約10件の通報を受け、そのうち携帯電話からの通報は396件でした。

また、台風23号の襲来時は、短時間に83件の通報が入るなど、これまで経験したことのない状況もありました。さらに、昨年から導入した、通報時に応急処置のやり方をアドバタイズする口頭指導は、心肺停止患

まとめ

わが身を守る 環境づくりを

いつ・どこで起こるかかわらないのが災害ですが、やはり日頃の備えや心がけ一つで、被害を最小限におさえるところはできます。また、火災や救急はちょっとした心がけで、少なくできます。災害を未然に防止し、少なくする環境づくりを心がけましょう。

緊急消防援助隊

阪神・淡路大震災を契機に整備された、全国の消防援助体制。地震等の大規模・特殊災害発生時における人命救助活動等を目的とし、消防庁長官の指示により出動する。

心室細動：心臓の筋肉がケイレンしたように不規則に細かく震えてポンプの機能が失われたような状態
AED：エーイーディー（自動体外式除細動器）